

2025 年 5 月 30 日 14:00 解禁

報道関係各位

夏休み！映画『マイクロプラスチック・ストーリー』特別上映 & 佐竹敦子監督座談会

（公財）日本野鳥の会（事務局：東京、会長：上田恵介、会員・サポーター数：約 5 万人）は、海の日と夏休みにあわせ、プラスチック汚染の問題を多くの方に知ってもらえるよう、ニューヨークの小学生がプラスチック汚染対策に取り組む映画『マイクロプラスチック・ストーリー』の特別上映（オンライン配信/会場上映）と、佐竹敦子監督のオンライン座談会を開催します。



上映会・座談会ともに小学生から参加できる内容で、家族での参加も歓迎します。座談会では、佐竹監督からニューヨークでの環境教育活動や映画に込めた思いをお話いただき、自分たちにできることを考え、交流します。上映会・座談会ともに参加費は無料です。

■映画『マイクロプラスチック・ストーリー』の特別上映

『マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る 2050 年～』は、ニューヨーク・ブルックリンの小学校 5 年生たちが世界的に大きなプラスチック汚染問題の根っこが何かを彼らの視点で問いただし、解決に向かって自分たちの地域からアクションを広げていくまでの 2 年を追った長編ドキュメンタリーです。

世界 45 の映画祭に招待され 8 つの賞を受賞し、日本でも 750 回以上の自主上映会が各地で行われています。今回は日本語吹替え版とメイキング映像（計 90 分）をオンライン配信または会場上映でご覧いただけます。

①オンライン配信

【配信期間】2025 年 7 月 12 日（土）～25 日（金）まで

【参加費】無料

【お申し込み】こちらからお申し込みください

<https://form2.wbsj.org/movie20250712-25>

お申し込みいただいた方に、視聴 URL 等の詳細をお送りします。

【締切】2025 年 7 月 24 日（木）12:00

②会場上映

【日時】2025 年 7 月 21 日（月・祝） 13:00～15:00

【内容】映画『マイクロプラスチック・ストーリー』の上映とあわせて、プラスチックの野鳥への影響や都立東京港野鳥公園の取り組みについてご紹介します。会場の東京港野鳥公園では、プラスチックごみの企画展を実施しており、上映会前後で展示もご覧いただけます。

【対象】どなたでも

【参加費】無料 ただし、東京港野鳥公園への入園料がかかります。

入園料：高校生以上 300 円、65 才以上・中学生（都内在住在学以外）150 円

※小学生以下と、都内在住在学の中学生は無料です。

【定員】50 名（先着順）

【会場】都立東京港野鳥公園

アクセス https://www.tptc.co.jp/park/03_08/access#mainbody

【お申し込み】

①イベント名「会场上映」②参加者全員の名前とフリガナ、年齢 ③連絡先電話番号

④E メールアドレス をご記入の上

E-mail:seminar@wbsj.org までお申し込みください。

【締切】2025 年 7 月 18 日（金）12:00

■佐竹敦子監督座談会

【日時】2025 年 7 月 23 日（水） 19:00～20:10

【対象】小学生以上、家族での参加も歓迎

【定員】100 組（先着順）

【参加費】無料

【実施方法】ZOOM Meeting で実施

【お申し込み】こちらからお申し込みください

<https://form2.wbsj.org/movie20250723>

※座談会申し込み者には、映画『マイクロプラスチック・ストーリー』の視聴 URL をお送りします。

ぜひ、映画をご覧くださいから、座談会にご参加ください。

【締切】2025 年 7 月 22 日（火）12:00

■佐竹敦子 Atsuko Quirk

共同監督・プロデューサー

日本語吹替版総合監督 撮影・編集

環境活動家・ドキュメンタリー映像作家

DIRECTOR/PRODUCER

ニューヨークを拠点とする NPO 団体カフェテリア・カルチャーにてメディアディレクターをつとめながら、合衆国環境保護庁やニューヨーク市教育委員会と密接に活動中。低所得者層地域の小中学校に出向いて環境教育を行いながら、子どもたちや地域の方々を巻き込んで、プラスチック汚染問題、そして気候危機問題を啓発する映画やビデオの制作をしている。子ど



©Cafeteria Culture 2025

もたちが自分たちで声をあげ、問題解決に立ち向かえるチカラを育む環境教育の姿勢が映像作品にも反映されている。

環境活動家としてもカフェテリア・カルチャーをベースにニューヨーク市の発泡スチロール容器廃止やレジ袋課金など教え子たちと共に積極的に政策提言活動し、法案通過に貢献している。

共同監督した映画『マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る 2050 年～』（原題：Microplastic Madness）はニューヨークの小学校 5 年生たちがプラスチック汚染問題に立ち向かう 2 年間の希望にあふれたトーンで描かれており、世界の映画祭で 8 つの受賞を果たし、45 カ国で上映されている。

■映画のご紹介

<Story>

ブルックリンのレッドフック地区にある PS15 の小学校 5 年生は、自分たちでリサーチやデータ収集を重ね、それを市議会で公表し、自分たちの住む地域で使い捨てプラスチックを減らす活動を重ねていきます。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見



しました。さらに自分たちの学校のカフェテリアでアクションを起こし、それをニューヨーク市全体に広げていきます。映画では子どもたちの素朴な疑問に専門家が答えていき、アニメーションをふんだんに使って、このプラスチック汚染問題をわかりやすく解き明かしていきます。子どもたちのまっすぐな熱意から希望が滲み出るマイクロプラスチック・ストーリーは、世界 45 の映画祭に選ばれ 8 つの賞を受賞しています。

原題：Microplastic Madness（2019 年アメリカ制作、76 分カラー、日本語版字幕）

映画のウェブサイト：<https://www.microplasticstory.org/>

<監督 & Staff>

監督：佐竹敦子 & デビーリー・コーヘン

撮影・編集：佐竹敦子

アニメーション：ダニエル・ラモス/デビーリー・コーヘン

出演：ニューヨーク市ブルックリン PS15 小学校の皆さん

チェルシー・ロックマン ジュディス・エンク マーカス・エリクセン

吹替版制作スタッフ：

吹替版総合監督 撮影・編集：佐竹敦子

吹替版プロデューサー：パトウイエ由美子

制作進行ディレクター：今宮則子

制作コーディネーター：都築章子

Re-Recording &Supervising Sound Editor：山川貴基

●映画受賞歴 アメリカの映画祭から

【最優秀審査員賞】グリーンポイント映画祭（ニューヨーク州ブルックリン）

【最優秀ドキュメンタリー】Raw Science 映画祭（カリフォルニア州ロサンゼルス）

【最優秀ドキュメンタリー】EKO 国際映画祭（ナイジェリア、ラゴス市）

【最優秀長編ドキュメンタリー】プロビデンス子供映画祭（ロードアイランド州プロビデンス）

【最優秀長編ドキュメンタリー】シアトル子供映画祭（ワシントン州シアトル）

【最優秀ソリューション賞】シネマヴェルデ環境映画祭（フロリダ州ゲインズビル）

【ペギー・シャレード優秀賞】ボストン国際子供映画祭（マサチューセッツ州ボストン）

【最優秀 SDGs アワード】ロサンゼルス日本映画祭（カリフォルニア州ロサンゼルス）

■日本野鳥の会 組織概要

組織名：公益財団法人 日本野鳥の会（会員・サポーター 約5万人）

代表者：理事長 遠藤孝一

所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

URL：<https://www.wbsj.org/>

■本件に関するお問い合わせ先

（公財）日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

担当：自然保護室 山本/岡本

電話：03-5436-2633 E-mail：seminar@wbsj.org